

## 第 1 章 四日市市の概況の把握

## 第1章 四日市市の概況

## 1. 市の概況

本市は、三重県の北部に位置し、北は川越町、朝日町、桑名市、東員町、いなべ市、西は菟野町、滋賀県甲賀市、南は鈴鹿市に接しています。また、東西に約23.8km、南北に約18.8km、市域面積は205.58km<sup>2</sup>であり、人口は約31万人の中京工業地帯の代表的な工業都市となっています。

1897年（明治30年）の市制施行当時は、総面積9.65km<sup>2</sup>、人口2.5万人でしたが、その後、市域を広げ、現在は三重県下最大の人口を擁しています。

市の西側は鈴鹿山系、東側は伊勢湾に面しており、鈴鹿山脈の山並みから東の伊勢湾に向かってなだらかに広がっている平野部を朝明川、鈴鹿川などが貫流し農地を潤しています。市の東側は特定重要港湾である四日市港が整備されており、石油コンビナート等を要する国際貿易港として重要な役割を担っています。また、海岸部には貴重な砂浜も広がっているなど、工業都市としてだけでなく、豊かな自然環境にも恵まれており、冬期には鈴鹿山脈に降雪が見られるものの気候も温暖で暮らしやすい地域となっています。

面積	205.58km <sup>2</sup> （H22.10.1現在）	宅地	55.17km <sup>2</sup>
		田畑等	49.42km <sup>2</sup>
		その他	100.99km <sup>2</sup>
人口	31万4,393人（H22.10.1現在）		
屋間人口	31万3,406人（H17.10.1現在） 屋間人口比率：103.5%		
転出入人口	転入人口：12,321人（H21.10.1現在） 転出人口：13,285人（H21.10.1現在）		
鉄道	<b>【鉄道交通】</b>  鉄道路線の駅数 JR関西本線 5駅 近鉄名古屋線 10駅 近鉄湯の山線 6駅 近鉄内部線 8駅 近鉄八王子線 2駅 三岐鉄道三岐線 7駅 伊勢鉄道伊勢線 3駅  計 41駅	<b>乗降数上位5駅</b>  近鉄四日市駅 52,378人 近鉄富田駅 14,698人 塩浜駅 6,330人 阿倉川駅 4,353人 霞ヶ浦駅 3,132人  ※すべて近鉄名古屋線 (H20.11.18現在)	

（出典）： H17 国勢調査、鉄道各社HPより作成

### ■市民の1日の流出入状況

本市域には、JR 関西本線、近鉄名古屋線・湯の山線、三岐鉄道等の鉄道網が整備され、さらに、名古屋と大阪を結ぶ東名阪自動車道、伊勢湾岸自動車道や国道1号、23号などの主要幹線道路が通っています。そのため、名古屋市への通勤・通学者が多い一方で、近隣の市町から本市への通勤・通学者も多く、屋間人口比率は100%を超えています。

2. 市の沿革

【江戸時代・明治時代以降】

本市は、江戸時代、東海道五十三次の 43 番目の宿場町として開け、「四日の市」の開催や萬古焼をはじめとする産業で栄えてきました。

幕末から明治時代にかけては、四日市港を中心に生糸、紡績の繊維産業を中心とする軽工業が栄え、四日市地域は商工業都市として発展してきました。

【1950 年代以降】

1950年代に入ると、重工業化政策の必要性から、旧海軍燃料廠が石油化学工業基地として活用され、石油精製工場や関連化学工場等が相次いで進出した結果、国内有数の石油化学コンビナートが形成され、高度経済成長期と時期を同じくしたことで、本市産業の基盤を築くこととなりました。

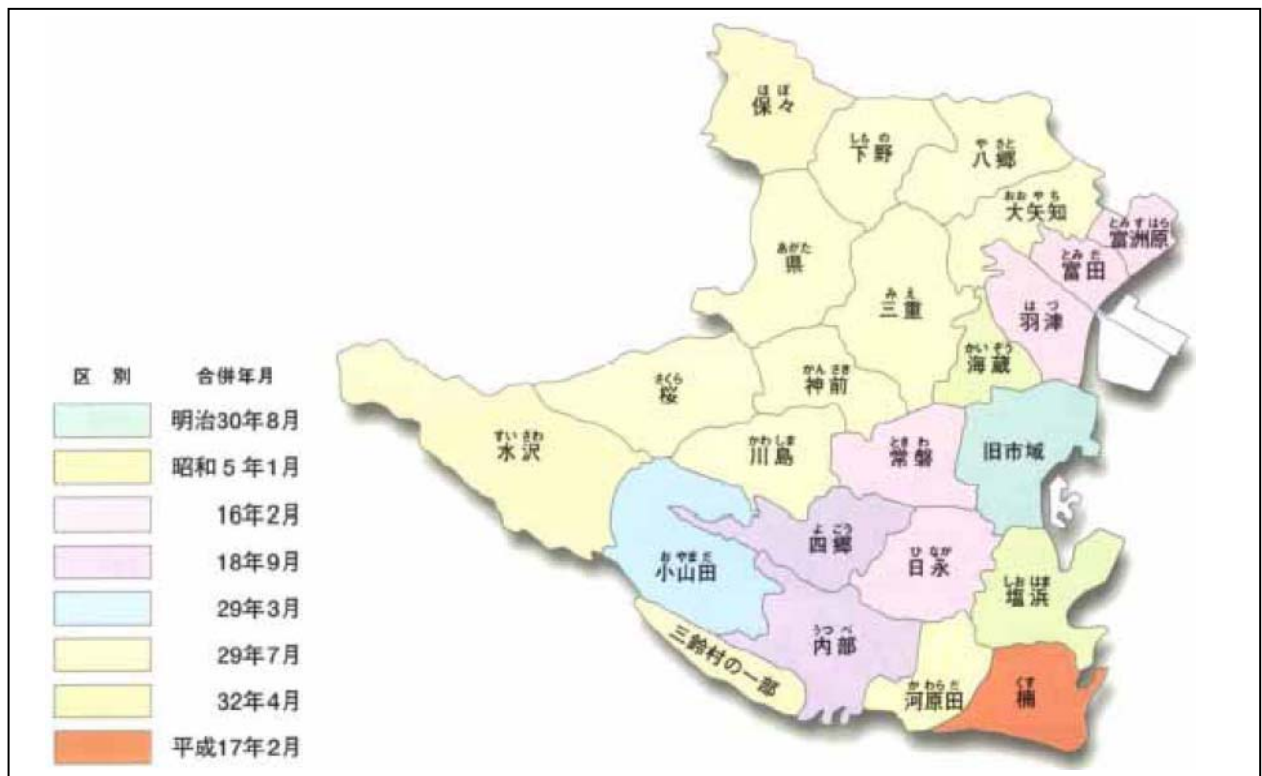
日本の代表的な石油化学工業都市として発展する一方で、石油精製工場等の集積は、大気汚染等の公害問題を引き起こしましたが、その後、官・民で巨額の費用を投じ、環境改善に取り組んできており、環境への負荷の少ないまちづくりを推進しています。

本市は、臨海部で発生した公害問題に対して、発生源である臨海部から居住地を内陸部へ移す政策をとり、郊外の丘陵部で大規模な住宅団地の開発を行った結果、内陸団地への人口移動が進み、加工組立型産業やハイテク産業、バイオ産業や研究開発機能などの先進的製造業の集積を可能にするなど地域経済を支える大きな要素となってきています。

【市域の変遷】

1897 年（明治 30 年）に市制を施行し、1930 年（昭和 5 年）に塩浜・海蔵村と合併、その後、多くの町村と合併を続け、近年では 2005 年（平成 17 年）2 月に楠町と合併し、現在の市域となっています。

図 市域変遷図



### 3. 市政の現状

#### ■基本構想及び基本計画

21世紀を目前に控え、市民の価値観、ライフスタイルの多様化、人口減少時代への突入、本格的な少子高齢化社会の到来など、本市を取り巻く環境が大きく変化しつつあることを受け、1998年度（平成10年度）に2010年度（平成22年度）を目標年度とする「四日市市総合計画」を策定しました。基本構想では、「人と文化と自然を育む活気あふれる港まち四日市」を目指すべき都市像として、地方分権の推進、行財政改革、民間活力の導入などを目標実現のための視点として行政運営を行ってきました。

さらに、2010年度（平成22年度）には、今後の更なる社会構造の変化に対応するため、2011年度（平成23年度）から10か年を計画期間とした、新たな「四日市市総合計画」を策定し、本市を取り巻く様々な課題に的確に対応し、「みんなが誇りを持てるまち四日市」を目指すべき都市像としています。

この都市像を実現するため、「都市と環境が調和するまち」、「いきいきと働ける集いと交流のあるまち」、「誰もが自由に移動しやすい安全に暮らせるまち」、「市民が支えあい健康で自分らしく暮らせるまち」、「心豊かな”よっかいち人”を育むまち」の5つを基本目標としています。さらに、基本目標を達成するため、「共に生きる社会の実現」、「地域主権の確立」、「高度情報化社会への対応」、「都市経営の視点」、「行財政改革と健全な行財政運営」の5つの視点を常に意識し、確実に効果的な取り組みを行っています。

#### ■行財政改革への取り組み

本市では、危機的な財政状況を脱するため、1998年（平成10年）9月に「新・四日市市行財政改革大綱」を策定し、職員定数の削減や一般会計の起債残高の縮小等、行財政改革に積極的に取り組んできました。さらに、2011年（平成23年）には「四日市市行財政改革プラン2011」を策定し、「新たな総合計画」の視点の1つとして掲げている「行財政改革と健全な行財政運営」を具体的に推進していきます。この行財政改革プランでは、「市民と共に進める公共サービスの構築」、「効率的で質の高い行政サービスの提供」、「持続可能で健全な財政運営」、「市民に信頼される行政運営」の4つを基本方針とし、限りある資源を最大限有効に活用し、多様化する市民ニーズに応じていくとともに、市民により良い行政サービスを提供し、持続可能な行財政運営を図っています。

#### ■更新需要が高まる公共施設

本市の公共施設は、高度成長期の人口増加に合わせ1970年代頃に整備されたものが多く、老朽化が進んでおり、大規模改修、環境負荷低減、長寿命化など、施設の更新需要が今後一斉に高まっていきます。これを受け、公共施設の状況を調査・分析し、現状の課題を整理するため公共施設マネジメント白書の策定をすることといたしました。

既存の公共施設の中には、利用率が低下しているものや、配置や機能の面で住民のニーズに合致していないものも見られます。また、建物の多くが築30年以上を経過し、老朽化等に伴う更新時期を迎えています。

今後、大規模改修や改築などが必要となりますが、厳しい財政状況のなかで、すべての更新需要に対応することは難しいのが実情です。そこで、既存施設の活用方法の見直し、より適切な施設配置、機能の転換、運営形態の再検討など、今後の市内の公共施設全体のあり方を整理・改善していくことが必要となります。

#### 4. 市域の特性

##### (1) 地形の特徴

伊勢平野の北東部に位置する本市は、西側には鈴鹿山脈から続く丘陵部が広がり、そこから伊勢湾に向かって平地が広がっています。平地には朝明川・海蔵川・三滝川・内部川・鈴鹿川などにより形成された扇状地と川からの堆積物により形成された沖積平野により構成されています。また、臨海部にあたる伊勢湾の海岸線には、海岸低地と言われる海拔10m以下の地域が南北に広がっています。

##### (2) 土地利用のあり方

少子高齢化・人口減少社会を迎える中で、都市機能を維持・管理していくためには、これからの人口規模や人口構成を基礎に、市民・企業の経済活動を始めとする様々な活動に見合った都市づくりを行う必要があります。そのため、中心市街地や駅前市街地などの都市機能集積地、既存の拠点的商业機能や住宅市街地、臨海部や農村集落など、各地域の特性や機能などを踏まえ拠点化を推進しています。

(3) 地区区分

地区区分は、四日市市への合併・編入前の町村の範囲を基本として区分されています。



市全体

世帯数	127,820	市全体比 —
人口 (人)	314,393	市全体比 —
面積 (km <sup>2</sup> )	205.58	人口密度 1,529.3

(平成22年10月1日現在)

中部

世帯数	12,037	市全体比 9.4%
人口 (人)	24,250	市全体比 7.7%
面積 (km <sup>2</sup> )	6.54	人口密度 3,708.0

四郷

世帯数	10,398	市全体比 8.1%
人口 (人)	24,496	市全体比 7.8%
面積 (km <sup>2</sup> )	8.4	人口密度 2,916.2

桜

世帯数	5,766	市全体比 4.5%
人口 (人)	16,150	市全体比 5.1%
面積 (km <sup>2</sup> )	12.02	人口密度 1,343.6

河原田

世帯数	1,857	市全体比 1.5%
人口 (人)	4,643	市全体比 1.5%
面積 (km <sup>2</sup> )	5.12	人口密度 906.8

富洲原

世帯数	3,717	市全体比 2.9%
人口 (人)	9,328	市全体比 3.0%
面積 (km <sup>2</sup> )	2.04	人口密度 4,572.5

内部

世帯数	6,900	市全体比 5.4%
人口 (人)	18,248	市全体比 5.8%
面積 (km <sup>2</sup> )	12.31	人口密度 1,482.4

三重

世帯数	9,112	市全体比 7.1%
人口 (人)	22,867	市全体比 7.3%
面積 (km <sup>2</sup> )	11.83	人口密度 1,933.0

水沢

世帯数	1,144	市全体比 0.9%
人口 (人)	3,435	市全体比 1.1%
面積 (km <sup>2</sup> )	19.63	人口密度 175.0

富田

世帯数	5,113	市全体比 4.0%
人口 (人)	11,954	市全体比 3.8%
面積 (km <sup>2</sup> )	4.88	人口密度 2,449.6

塩浜

世帯数	2,969	市全体比 2.3%
人口 (人)	6,680	市全体比 2.1%
面積 (km <sup>2</sup> )	7.44	人口密度 897.8

泉

世帯数	2,448	市全体比 1.9%
人口 (人)	7,089	市全体比 2.3%
面積 (km <sup>2</sup> )	11.25	人口密度 630.1

保々

世帯数	2,575	市全体比 2.0%
人口 (人)	7,496	市全体比 2.4%
面積 (km <sup>2</sup> )	10.86	人口密度 690.2

羽津

世帯数	6,771	市全体比 5.3%
人口 (人)	16,615	市全体比 5.3%
面積 (km <sup>2</sup> )	8.8	人口密度 1,888.1

小山田

世帯数	1,868	市全体比 1.5%
人口 (人)	4,947	市全体比 1.6%
面積 (km <sup>2</sup> )	18.35	人口密度 269.6

八郷

世帯数	4,801	市全体比 3.8%
人口 (人)	13,079	市全体比 4.2%
面積 (km <sup>2</sup> )	10.21	人口密度 1,281.0

海蔵

世帯数	5,350	市全体比 4.2%
人口 (人)	13,495	市全体比 4.3%
面積 (km <sup>2</sup> )	3.65	人口密度 3,697.3

常磐

世帯数	11,934	市全体比 9.3%
人口 (人)	27,289	市全体比 8.7%
面積 (km <sup>2</sup> )	4.89	人口密度 5,580.6

川島

世帯数	4,427	市全体比 3.5%
人口 (人)	12,407	市全体比 3.9%
面積 (km <sup>2</sup> )	7.89	人口密度 1,572.5

下野

世帯数	3,280	市全体比 2.6%
人口 (人)	8,373	市全体比 2.7%
面積 (km <sup>2</sup> )	7.57	人口密度 1,106.1

橋北

世帯数	2,698	市全体比 2.1%
人口 (人)	5,951	市全体比 1.9%
面積 (km <sup>2</sup> )	2.62	人口密度 2,271.4

日永

世帯数	7,886	市全体比 6.2%
人口 (人)	18,137	市全体比 5.8%
面積 (km <sup>2</sup> )	7.23	人口密度 2,508.6

神前

世帯数	2,683	市全体比 2.1%
人口 (人)	7,120	市全体比 2.3%
面積 (km <sup>2</sup> )	7.4	人口密度 962.2

大矢知

世帯数	7,663	市全体比 6.0%
人口 (人)	18,982	市全体比 6.0%
面積 (km <sup>2</sup> )	6.89	人口密度 2,755.0

楠

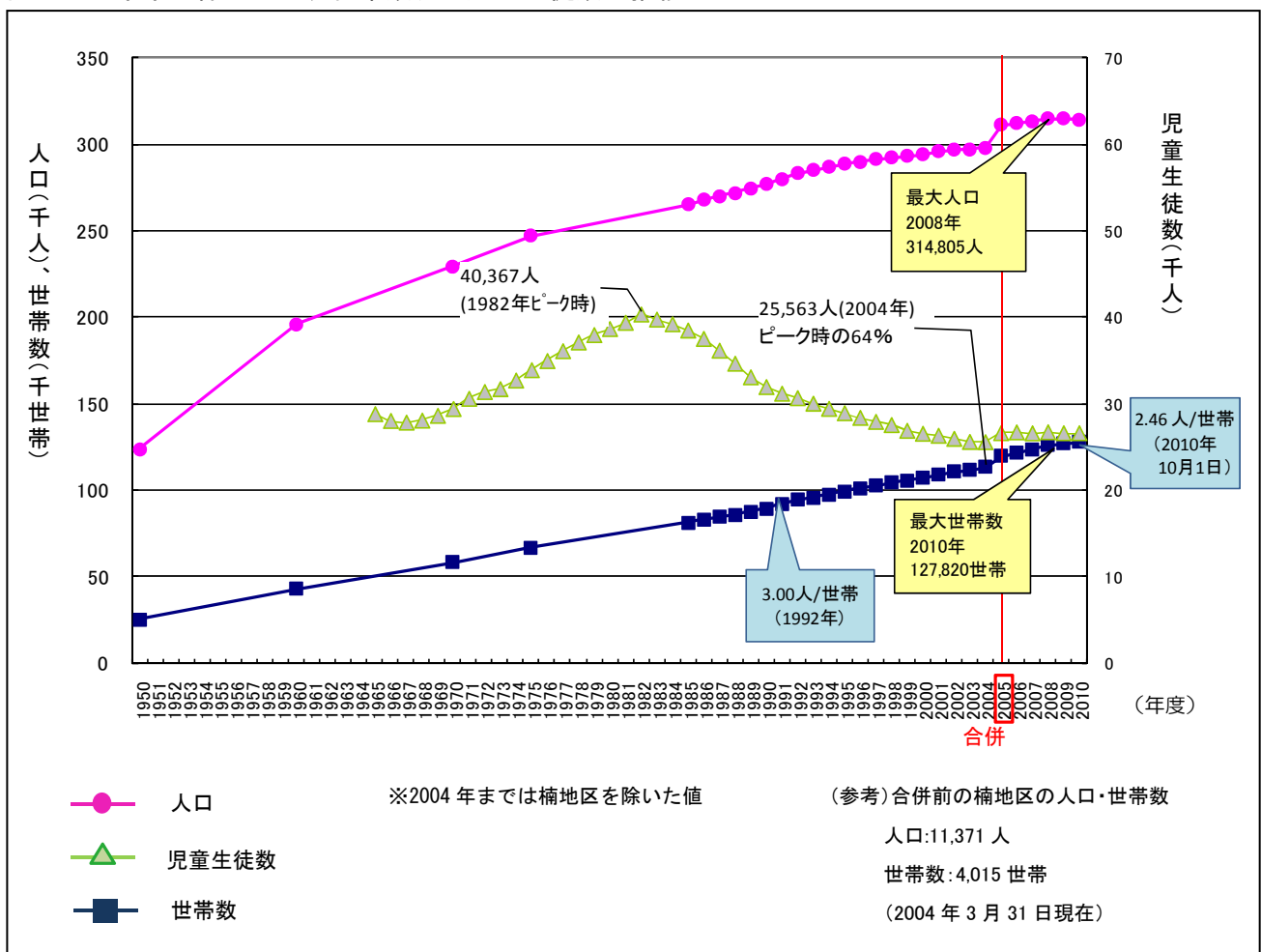
世帯数	4,423	市全体比 3.5%
人口 (人)	11,362	市全体比 3.6%
面積 (km <sup>2</sup> )	7.76	人口密度 1,464.2

5. 市の人口

(1) 人口・世帯数の推移

人口は、1950年（昭和25年）以降増加を続けておりましたが、近年は横ばいとなっています。一方で、児童生徒数は、1982年（昭和57年）に4万人のピークを迎えた後、減少が続き、2004年（平成16年）には2.6万人となり、ピーク時の64%まで減少しています。しかし、近年は減少傾向から横ばいに転じています。世帯数は、1950年から近年まで人口の増加に合わせて増加を続けてきましたが、近年は、人口は横ばい傾向で推移しているにもかかわらず、世帯数は増加基調にあり、1世帯当たりの人数が小さくなってきています。

図 四日市市全体 人口、世帯数及び児童生徒数の推移



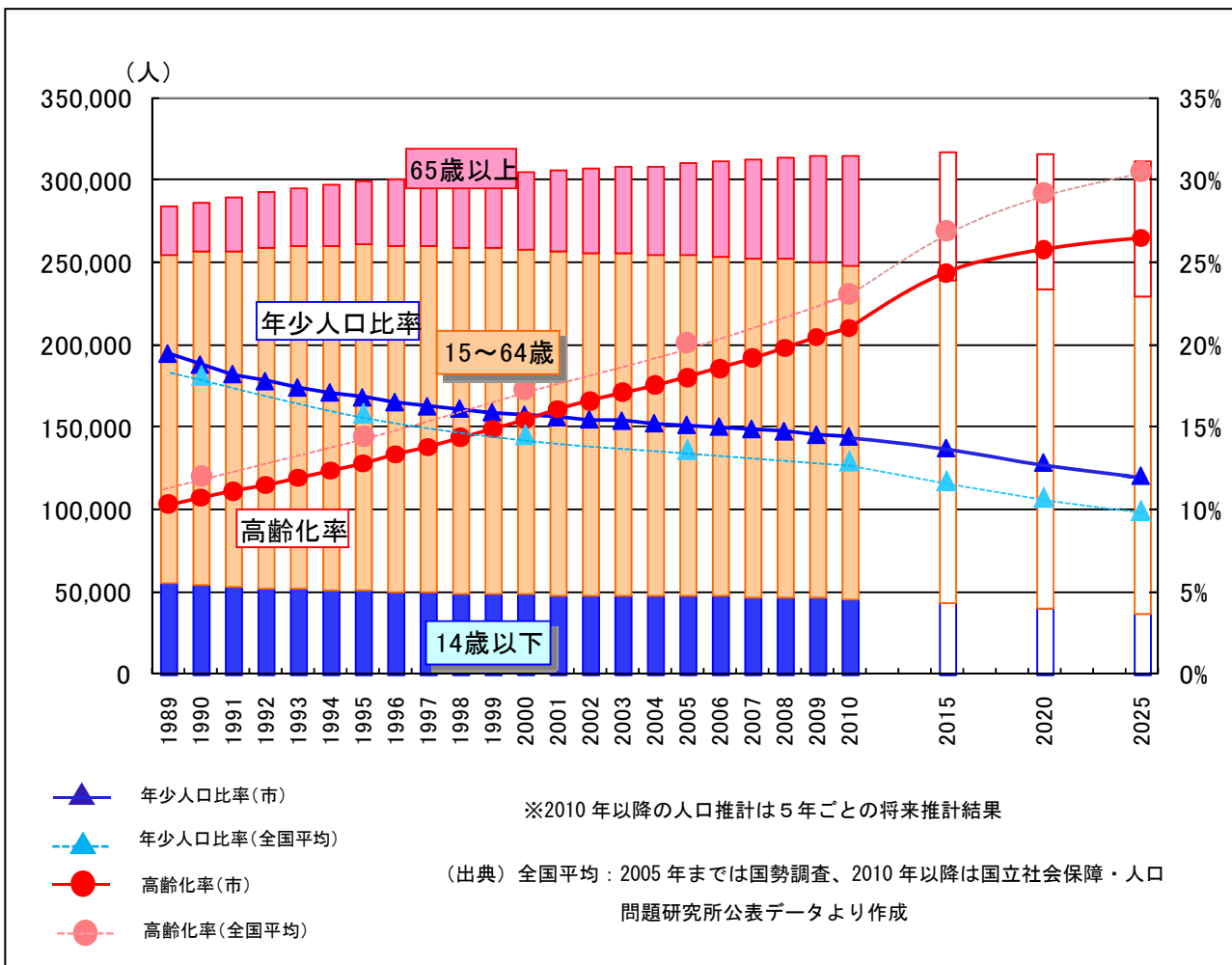
人口は四日市市住民基本台帳各年10月1日現在

(2) 3階層別人口の推移

現状において、全国平均(23.0%)より低い高齢化率(21.1%)は、2010年(平成22年)以降、上昇を続け、2025年(平成37年)時点では26.5%になると推計しています。これは、全国人口の中位推計において高齢化率が一貫した上昇を示すこと(2025年(平成37年)時点では、30.5%)と一致しています。高齢者人口は、2010年(平成22年)から2025年(平成37年)までに約1.6万人増加すると推計しています。

年少人口(2010年(平成22年)、約4.5万人)は、すでに減少傾向にあり、2025年(平成37年)までの間に約7千人減少すると推計しています。年少人口比率(2010年(平成22年)、14.3%)も年少人口の推移と同様に低下していき、2025年(平成37年)には12%にまで低下すると推計しています。こちらも全国人口の中位推計において年少人口比率が一貫した低下を示すこと(2030年(平成42年)、10%)と一致しています。生産年齢人口(2010年(平成22年)、約20.3万人)は減少を続け、2025年(平成37年)(約19.2万人)まで減少すると推計しています。

図 四日市市全体 3階層別人口の推移



人口は四日市市住民基本台帳各年4月1日現在

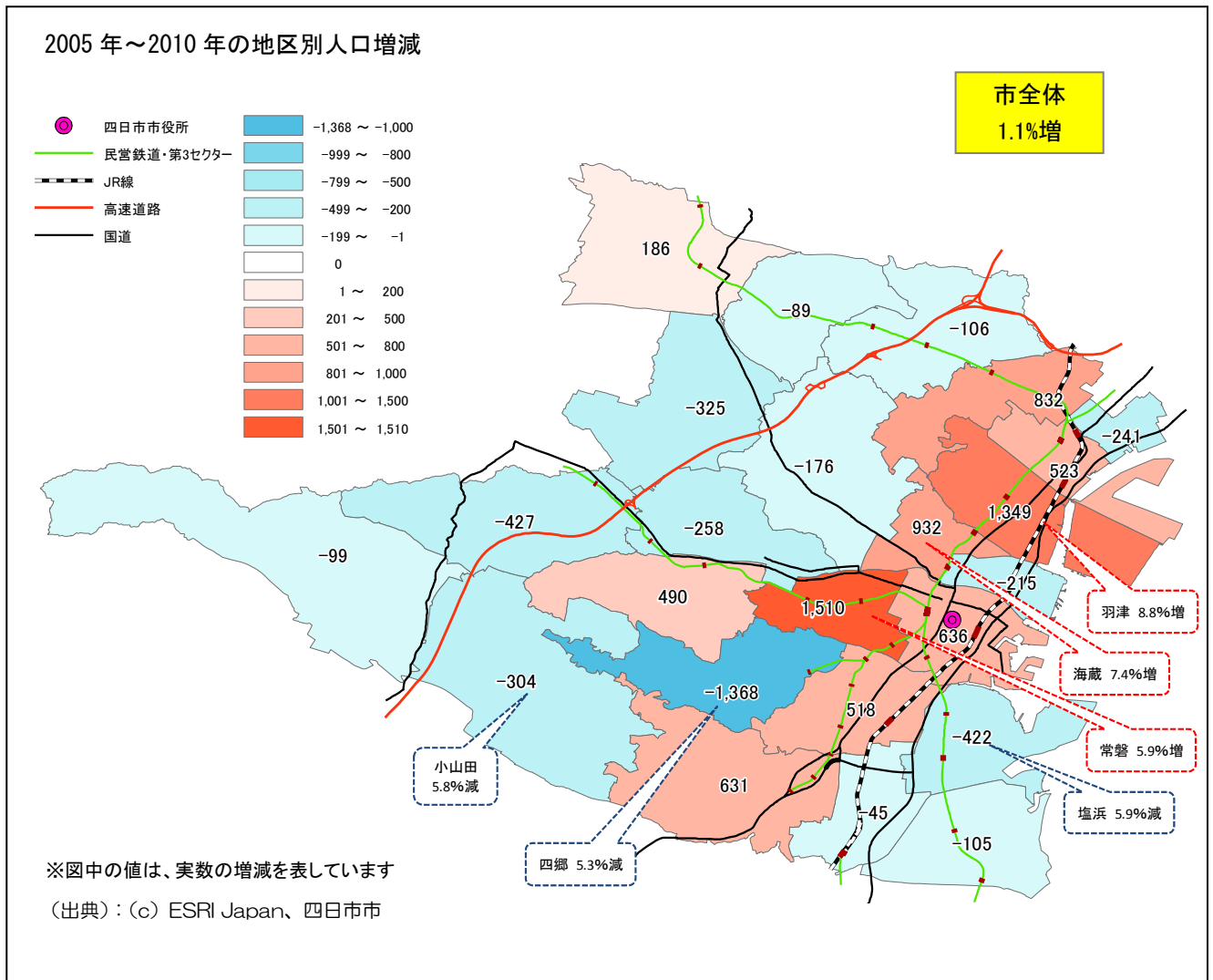


(3) 地区別人口の増減

■現状 (2005年(平成17年)～2010年(平成22年))

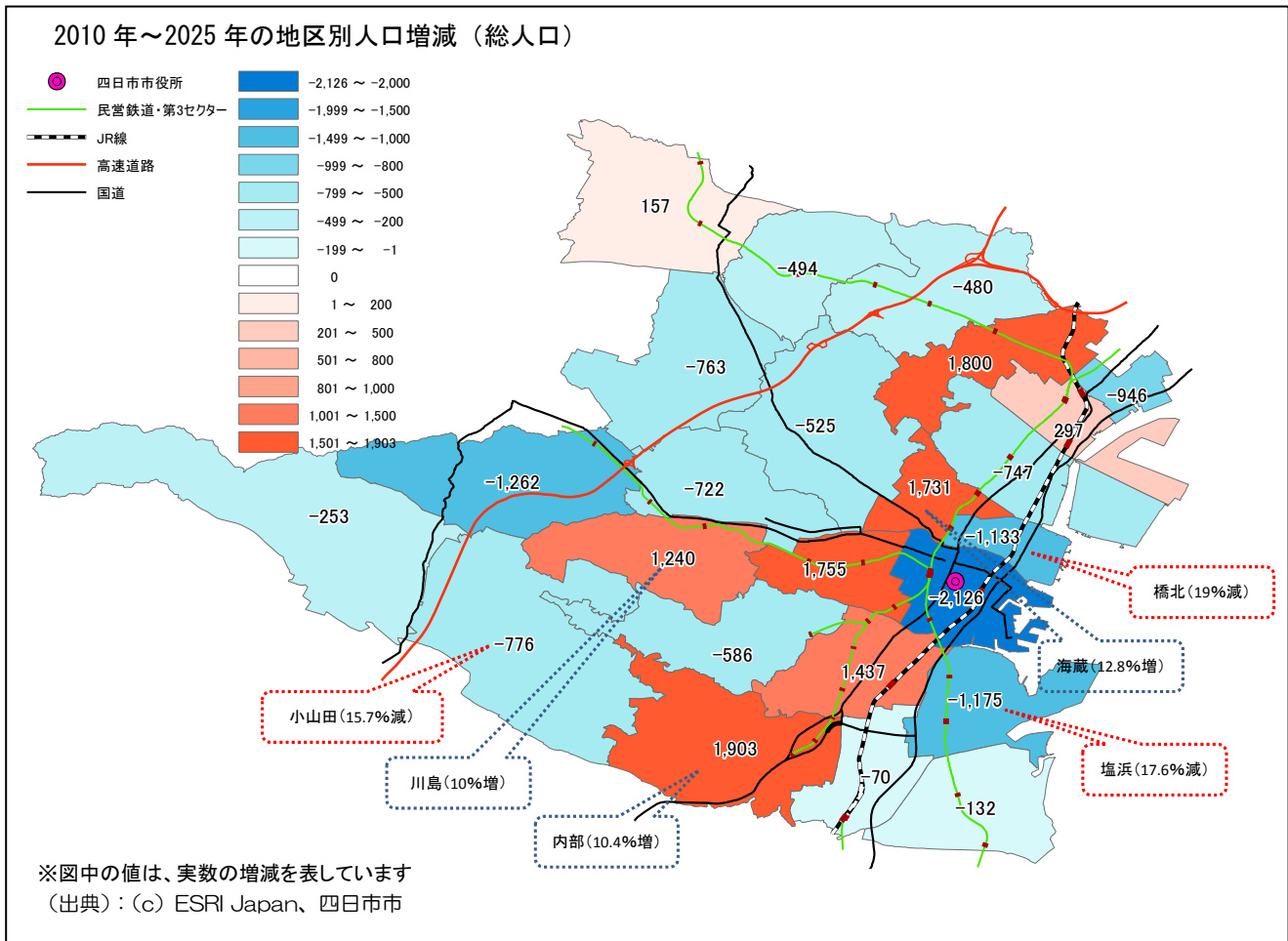
直近(2005年～2010年)の人口増減をみると、羽津地区(8.8%増)、海蔵地区(7.4%増)、常磐地区(5.9%増)において、目立った増加がみられます。

一方で、塩浜地区(5.9%減)、小山田地区(5.8%減)、四郷地区(5.3%減)において、目立った減少が見られます。市全体では1.1%の増加となっています。



■将来推計（2010年（平成22年）～2025年（平成37年））（総人口）

将来推計によると、臨海部の後背地区とそれ以外の地区では対照的となっています。臨海部の後背地区である大矢知地区、海蔵地区、常磐地区、川島地区、日永地区、内部地区などでは人口が増加すると推計していますが、臨海部の中部地区、塩浜地区や、市の西部の小山田地区、桜地区、県地区などについては人口が減少すると推計しています。



(4) 地区別人口の現状（2005年（平成17年）～2010年（平成22年））

■四日市市全体

2010年（平成22年）の総人口は約31.4万人で、三重県下で最大です。過去5年間で総数は1.1%増加していますが、14歳以下の年少人口は4.5万人と2005年（平成17年）から減少しており、年少人口比率もやや減少し、14.3%となっており、全国平均（13.3%）を上回っています。65歳以上の高齢者は2005年（平成17年）の約5.7万人から約6.6万人へと増加し、高齢化率も18.2%から21.1%に上昇しており、全国平均（23.0%）を下回っていますが、徐々に少子高齢化が進んでいます。

■人口増加地区（大矢知、富田、保々、海蔵、常磐、川島、日永、内部）

2010年（平成22年）の人口規模は、常磐地区が2.7万人、中部地区が2.4万人、大矢知地区が1.9万人、日永地区が1.8万人の順となっています。過去5年間で、常磐地区は5.9%増、中部地区は2.7%増、大矢知地区は4.6%増、日永地区が2.9%増となっています。最も増加率が高かったのは、羽津地区の8.8%となっています。人口増加地区に関して、全ての地区において市全体の増加率を上回っています。

65歳以上の高齢者は、中部地区が0.5万人（23.4%）、常磐地区が0.4万人（17.1%）、日永地区が0.3万人（18.5%）、大矢知地区が0.3万人（17.8%）となっています。また、内部地区の高齢化率（15.9%）は市内で最低です。富田地区・中部地区を除き、総人口が増加している地区については、高齢化率は市平均を下回っています。

14歳以下の年少人口は、川島地区が0.2万人（16.6%）、内部地区・日永地区が0.3万人（16.5%）、保々地区が0.1万人（16.4%）となっています。富田地区・中部地区を除き、総人口が増加している地区については、年少人口比率が市平均を上回っていますが、内部地区、保々地区、中部地区、大矢知地区のように、2005年（平成17年）から減少している地区もあります。

生産年齢人口の比率は、海蔵地区・富田地区を除き、市平均を上回っていますが、川島地区については2005年から減少しています。

### ■人口減少地区

2010年（平成22年）の人口規模は、四郷地区が2.4万人、三重地区が2.3万人、桜地区が1.6万人、八郷地区が1.3万人です。過去5年間で、四郷地区は5.3%減、三重地区は微減、桜地区は2.6%減、八郷地区は微減しています。塩浜、小山田、四郷地区など、5%を超える目立った減少を示している地区もあります。人口減少地区では、年少人口・生産年齢人口ともに減少傾向にあります。

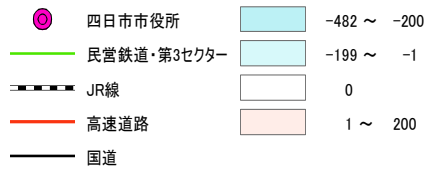
一方で、高齢者の人口は、四郷地区が0.6万人（23.3%）、三重地区が0.5万人（22.7%）、桜地区が0.3万人（20.2%）、八郷地区が0.3万人（21.0%）となっています。

また、高齢化率については、一部の地区を除き、市平均の21.1%を上回っており、橋北地区（29.7%）、塩浜地区（29.6%）のように、30%に迫っている地区もあります。全ての地区の高齢化率も2005年（平成17年）時点より上昇しており、2005年（平成17年）から2010年（平成22年）までの間に市平均を上回る地区が増えています。

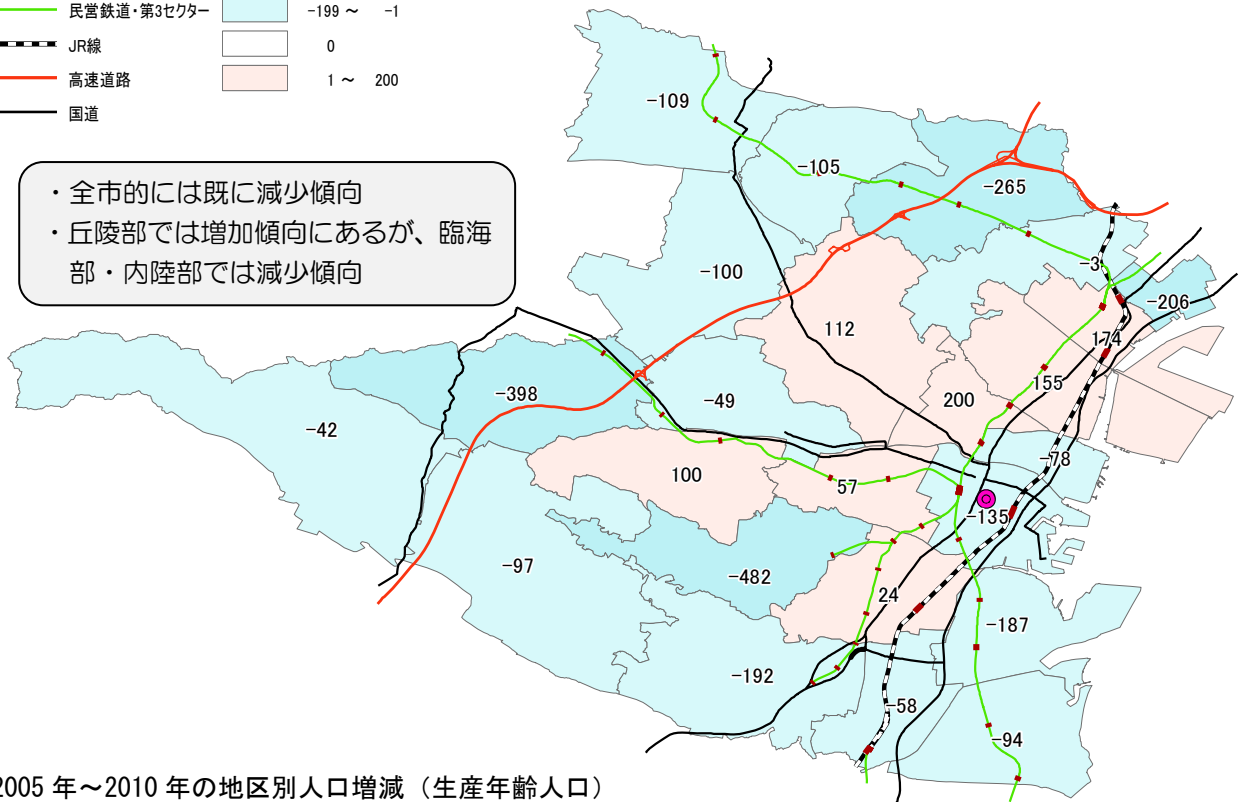
14歳以下の年少人口は、三重地区が0.3万人（15.1%）、四郷地区が0.3万人（13.7%）、桜地区が0.2万人（12.3%）、八郷地区が0.2万人（13.6%）です。三重地区（15.1%）、楠地区（14.5%）を除き、年少人口比率は市平均の14.3%を下回り、塩浜地区（9.5%）については市内で最も低くなっています。

地区	総人口			年少人口(0~14歳)			生産年齢人口(15~64歳)			高齢者人口(65歳~)		高齢化率	
	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	増減率	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	人口割合	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	人口割合	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)	2005年 (平成17年)	2010年 (平成22年)
羽津	15,266	16,615	8.8%	2,400	2,555	15.4%	10,400	11,112	66.9%	2,466	2,948	16.2%	17.7%
海蔵	12,563	13,495	7.4%	1,965	2,165	16.0%	8,321	8,651	64.1%	2,277	2,679	18.1%	19.9%
常磐	25,779	27,289	5.9%	4,291	4,348	15.9%	17,624	18,271	67.0%	3,864	4,670	15.0%	17.1%
大矢知	18,150	18,982	4.6%	3,035	3,032	16.0%	12,353	12,569	66.2%	2,762	3,381	15.2%	17.8%
富田	11,431	11,954	4.6%	1,460	1,634	13.7%	7,280	7,439	62.2%	2,691	2,881	23.5%	24.1%
川島	11,917	12,407	4.1%	1,965	2,065	16.6%	8,276	8,129	65.5%	1,676	2,213	14.1%	17.8%
内部	17,617	18,248	3.6%	3,211	3,019	16.5%	12,064	12,327	67.6%	2,342	2,902	13.3%	15.9%
日永	17,619	18,137	2.9%	2,975	2,999	16.5%	11,627	11,780	65.0%	3,017	3,358	17.1%	18.5%
中部	23,614	24,250	2.7%	2,786	2,651	10.9%	15,596	15,934	65.7%	5,232	5,665	22.2%	23.4%
保々	7,310	7,496	2.5%	1,339	1,230	16.4%	4,828	4,934	65.8%	1,143	1,332	15.6%	17.8%
三重	23,043	22,867	-0.8%	3,340	3,452	15.1%	15,631	14,230	62.2%	4,072	5,185	17.7%	22.7%
八郷	13,185	13,079	-0.8%	2,041	1,776	13.6%	8,926	8,553	65.4%	2,218	2,750	16.8%	21.0%
楠	11,467	11,362	-0.9%	1,747	1,653	14.5%	7,468	7,149	62.9%	2,252	2,560	19.6%	22.5%
河原田	4,688	4,643	-1.0%	711	653	14.1%	3,087	3,008	64.8%	890	982	19.0%	21.2%
下野	8,462	8,373	-1.1%	1,232	1,127	13.5%	5,495	5,178	61.8%	1,735	2,068	20.5%	24.7%
富洲原	9,569	9,328	-2.5%	1,399	1,193	12.8%	6,052	5,767	61.8%	2,118	2,368	22.1%	25.4%
桜	16,577	16,150	-2.6%	2,389	1,991	12.3%	11,713	10,903	67.5%	2,475	3,256	14.9%	20.2%
水沢	3,534	3,435	-2.8%	524	482	14.0%	2,139	1,997	58.1%	871	956	24.6%	27.8%
橋北	6,166	5,951	-3.5%	720	642	10.8%	3,701	3,539	59.5%	1,745	1,770	28.3%	29.7%
神前	7,378	7,120	-3.5%	950	901	12.7%	4,874	4,395	61.7%	1,554	1,824	21.1%	25.6%
県	7,414	7,089	-4.4%	1,103	1,003	14.1%	5,099	4,613	65.1%	1,212	1,473	16.3%	20.8%
四郷	25,864	24,496	-5.3%	3,835	3,353	13.7%	17,199	15,425	63.0%	4,830	5,718	18.7%	23.3%
小山田	5,251	4,947	-5.8%	640	543	11.0%	3,267	2,975	60.1%	1,344	1,429	25.6%	28.9%
塩浜	7,102	6,680	-5.9%	823	636	9.5%	4,420	4,065	60.9%	1,859	1,979	26.2%	29.6%
全市	310,966	314,393	1.1%	46,881	45,103	14.3%	207,440	202,943	64.6%	56,645	66,347	18.2%	21.1%

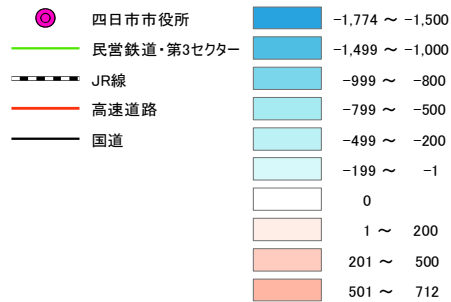
2005年～2010年の地区別人口増減（年少人口）



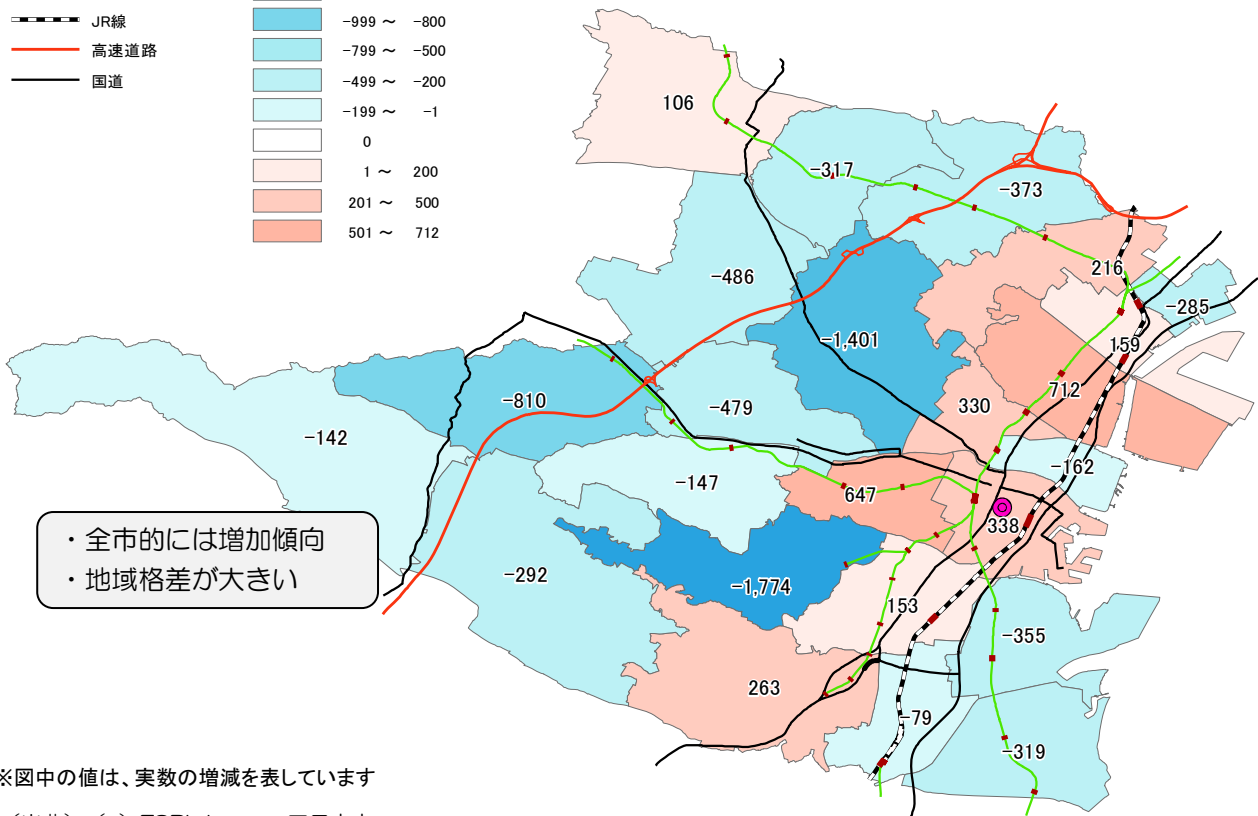
・全市的には既に減少傾向  
 ・丘陵部では増加傾向にあるが、臨海部・内陸部では減少傾向



2005年～2010年の地区別人口増減（生産年齢人口）

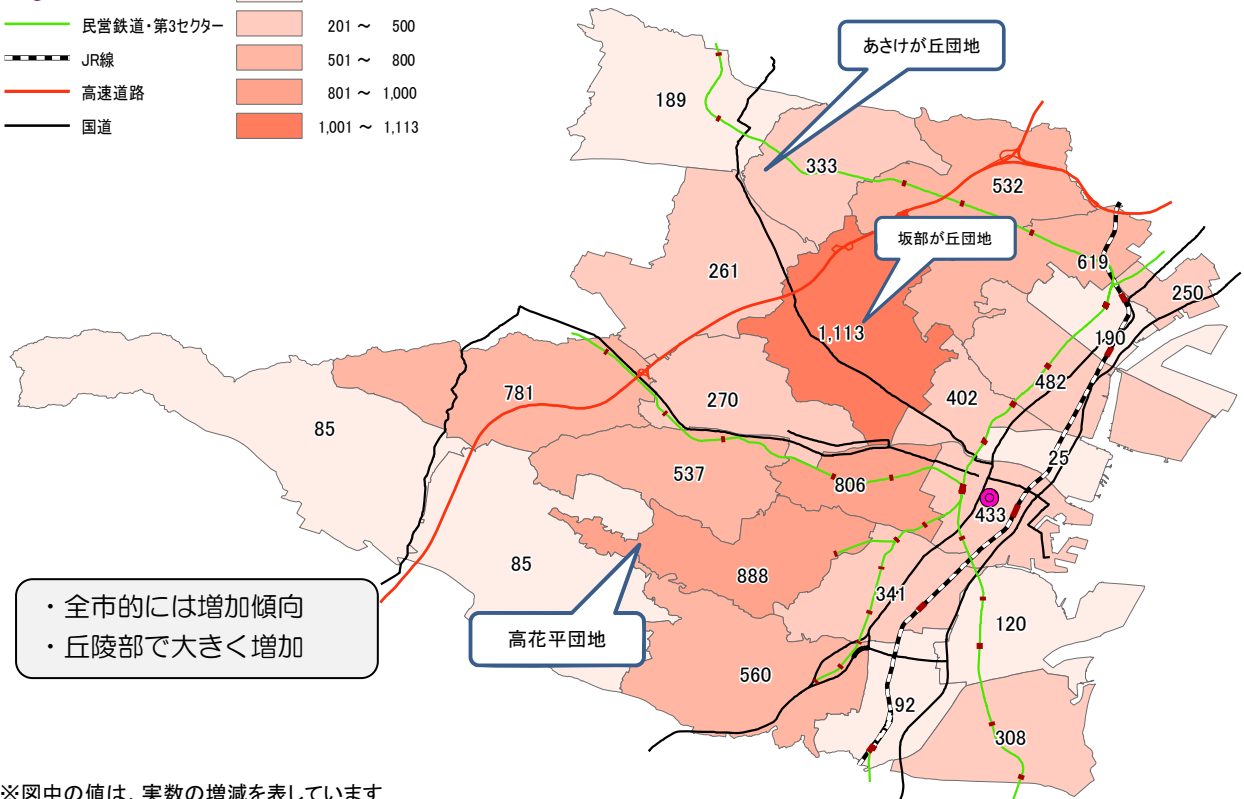
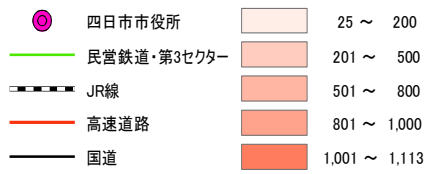


・全市的には増加傾向  
 ・地域格差が大きい



※図中の値は、実数の増減を表しています  
 (出典)：(c) ESRI Japan、四日市市

2005年～2010年の地区別人口増減（高齢者人口）



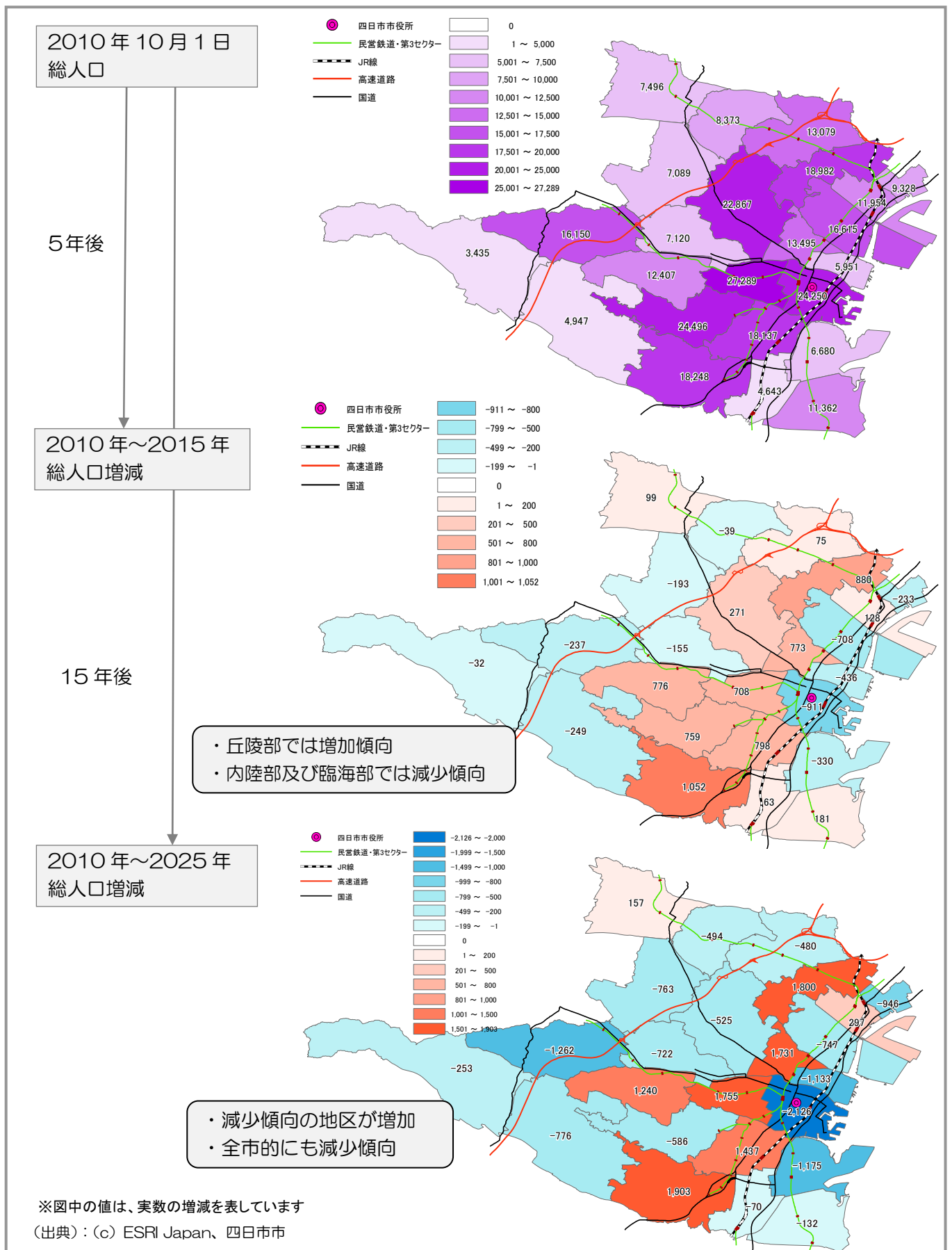
・全市的には増加傾向  
・丘陵部で大きく増加

※図中の値は、実数の増減を表しています  
(出典)：(c) ESRI Japan、四日市市

(5) 地区別人口の将来推計

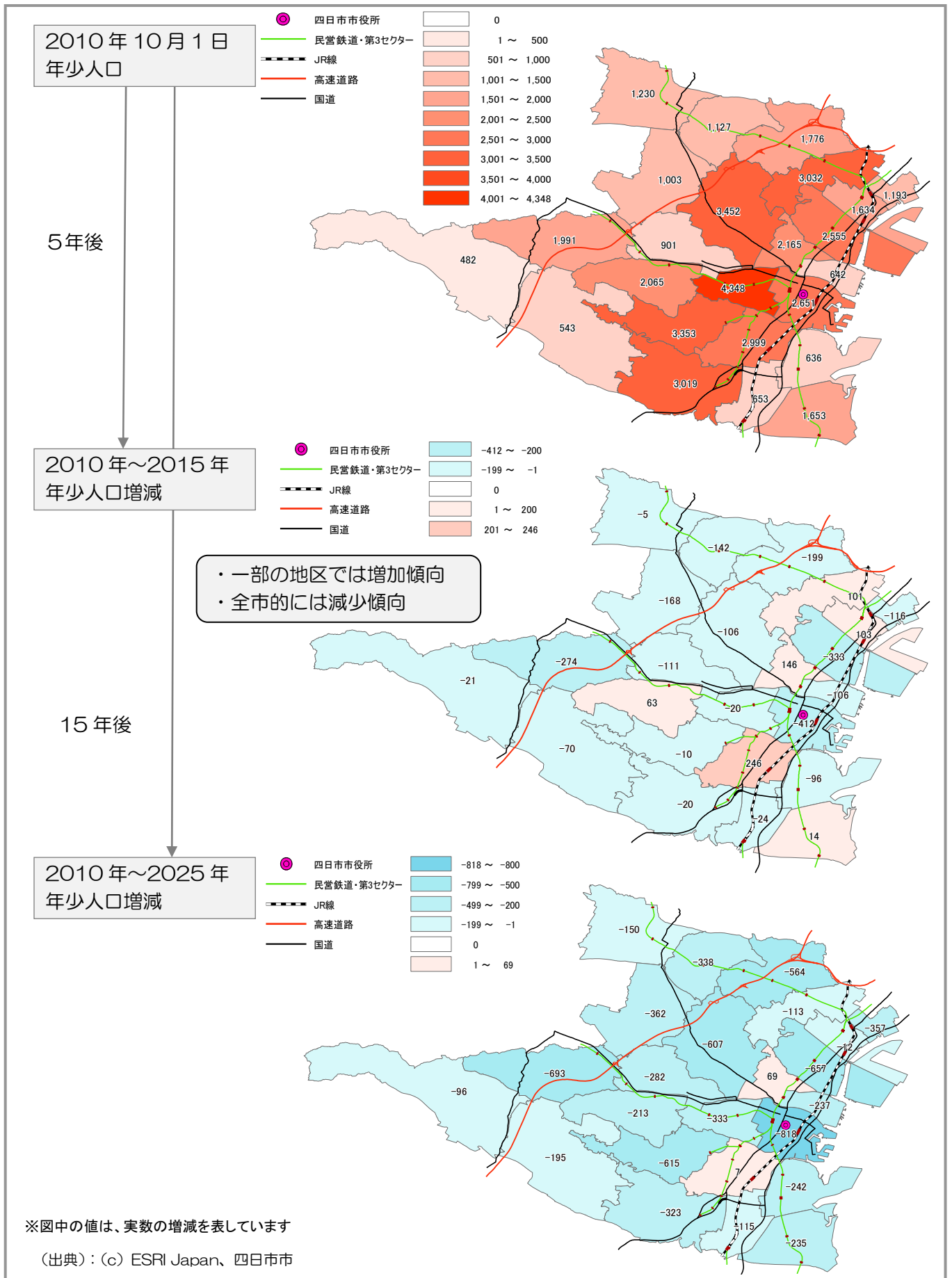
(2010年(平成22年)から2015年(平成27年)までの15年間)

■ 総人口

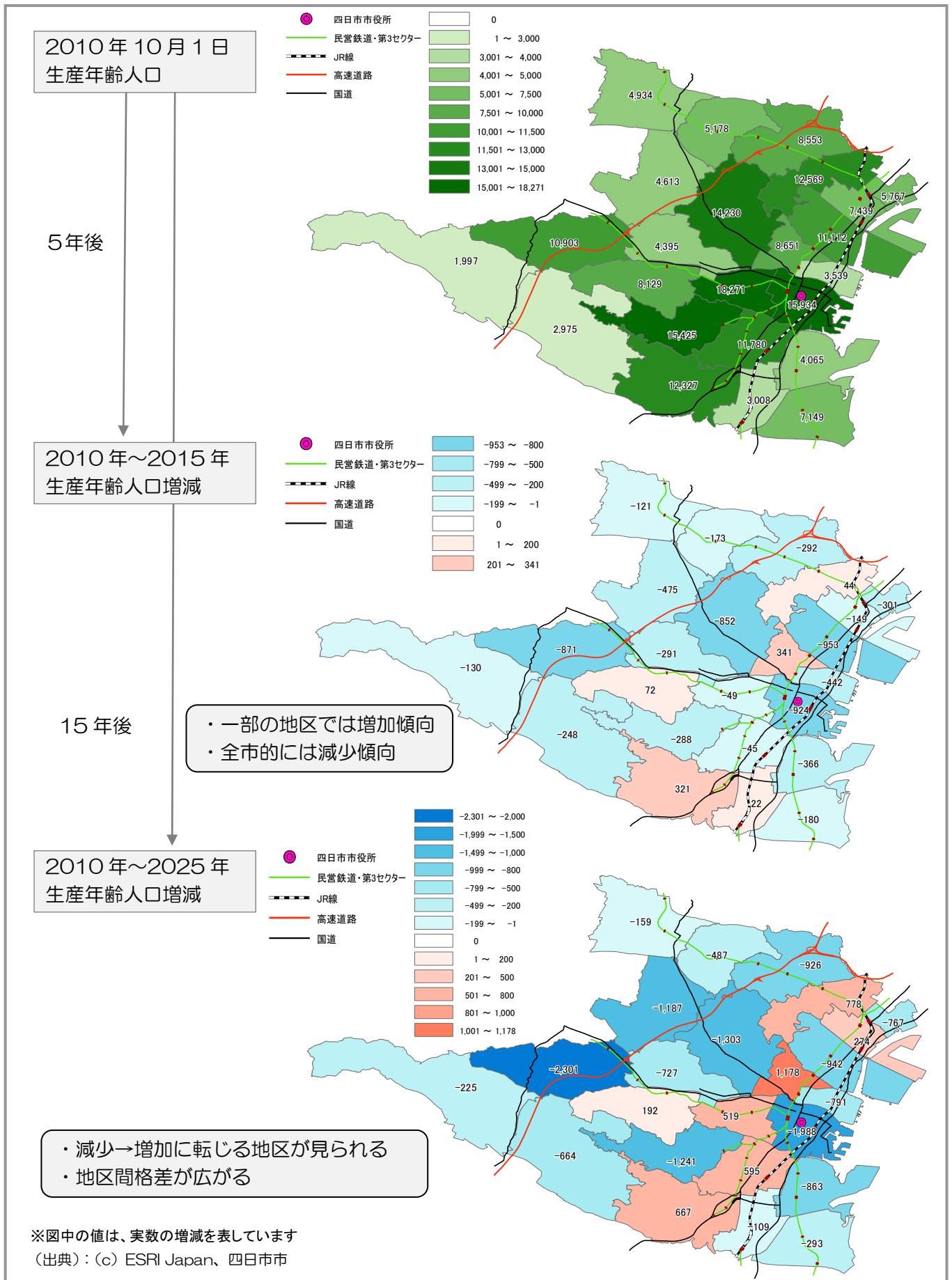




■年少人口

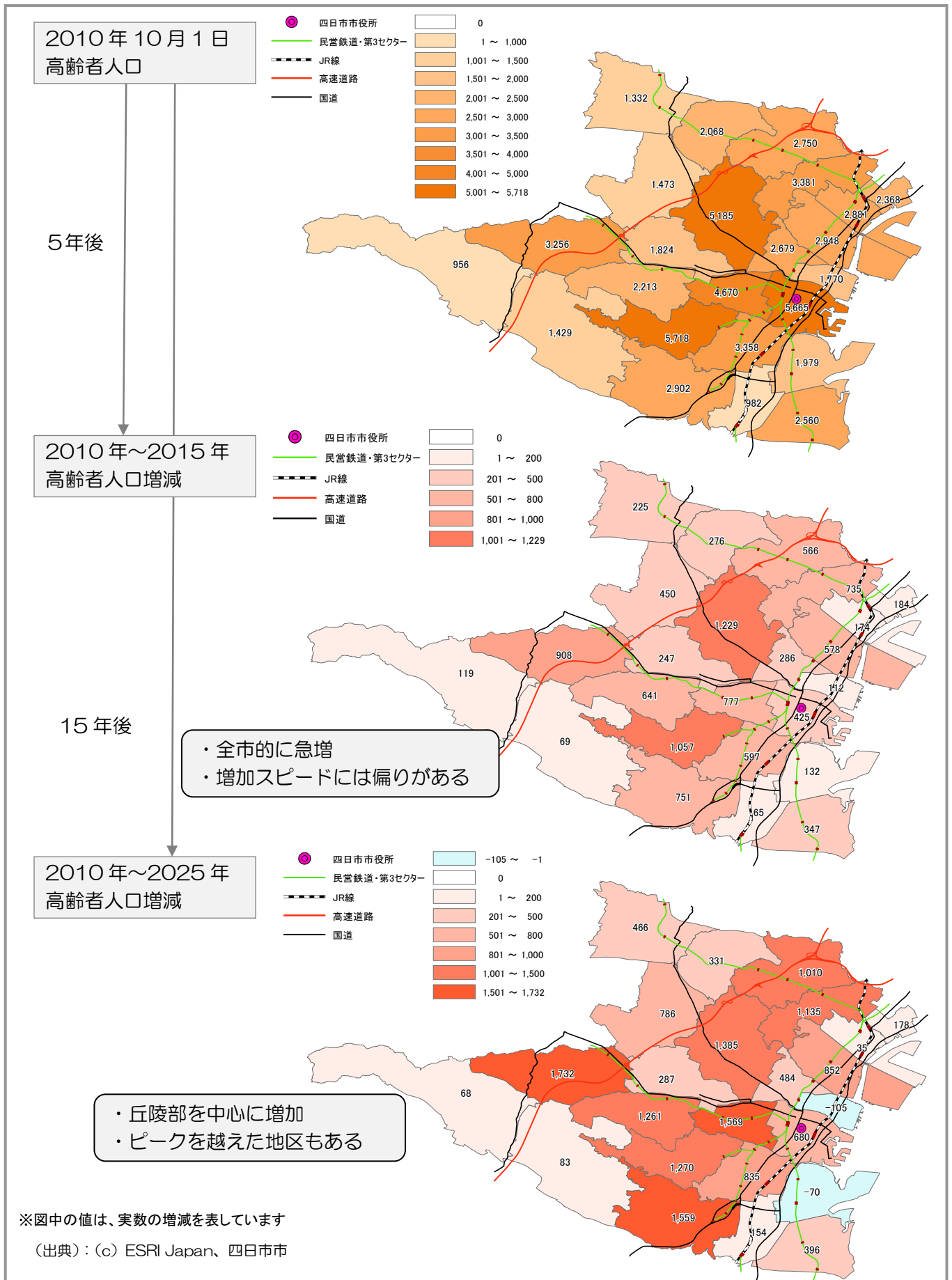


■生産年齢人口





■高齢者人口



## ■四日市市全体

2010年（平成22年）10月1日（約31.4万人）より10年後（2020年（平成32年））までの総人口は微増傾向と推計していますが、転じて、15年後（2025年（平成37年））には0.6%減少（約31.2万人）すると推計しています。2015年（平成27年）には団塊世代が高齢者層に入り、2025年（平成37年）には団塊ジュニア世代が50～54歳層に参入してきます。

現状において、全国平均（23.0%）より低い高齢化率（21.1%）は、今後、上昇を続け、2025年（平成37年）には26.5%になると推計しています。これは、全国人口の中位推計において高齢化率が一貫した上昇を示すこと（2025年（平成37年）時点では、30.5%）と一致しています。高齢者人口は、2025年（平成37年）までに約1.6万人増加すると推計しています。

年少人口（2010年（平成22年）、4.5万人）は、すでに減少傾向にあり、2025年（平成37年）には約3.8万人になると推計しています。年少人口比率（2010年（平成22年）、14.3%）も同様の傾向を示し、2025年（平成37年）には12.0%になると推計しています。全国人口の中位推計において年少人口比率が一貫した低下を示すことと同様の傾向を示しています。

生産年齢人口（2010年（平成22年）、約20.3万人）も、すでに減少傾向にあり、2025年（平成37年）には約19.2万人になると推計しています。生産年齢人口比率（2010年（平成22年）、64.6%）も同様の傾向を示し、2025年（平成37年）には61.5%になると推計しています。全国人口の中位推計において生産年齢人口比率が一貫した低下を示すことと同様の傾向を示しています。

### 2.4地区合計人口推計値

	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (平成32年)	2025年 (平成37年)
総人口	314,393	317,433	315,898	312,523
高齢者人口	66,347	77,297	81,456	82,728
高齢化率	21.1%	24.4%	25.8%	26.5%
年少人口	45,103	43,543	40,544	37,622
年少人口比率	14.3%	13.7%	12.8%	12.0%
生産年齢人口	202,943	196,593	193,898	192,173
生産年齢人口比率	64.6%	61.9%	61.4%	61.5%

※2010年は10月1日現在

2.4地区合計人口推計値は、2.4地区それぞれの人口を基準に「コーホート要因法」を用い推計したものを単純合算したものであり、四日市市総合計画で使用した市全体人口推計値と一致していません。

### 全国 推計値

高齢化率	23.1%	26.9%	29.2%	30.5%
年少人口比率	13.0%	11.8%	10.8%	10.0%
生産年齢人口比率	63.9%	61.2%	60.0%	59.5%

（出典）：国立社会保障・人口問題研究所

### ■人口増加地区（海蔵、内部、大矢知、川島、日永、常磐、富田、保々）

2010年（平成22年）から10年後（2020年（平成32年））をみると、総人口は増加幅の大きい順に、海蔵地区で9.4%、川島地区で8.6%、内部地区で8.4%、大矢知地区で7.3%増加すると推計しています。2010年（平成22年）から15年後（2025年（平成37年））までをみると、総人口は海蔵地区で12.8%、内部地区で10.4%、川島地区で10%、大矢知地区で9.5%増加すると推計しており、期間を通じて一貫した増加を示します。しかし、河原田地区、四郷地区、楠地区については、2020年（平成32年）までは増加した後に減少に転じ、現在（2010年（平成22年））との比較では、それぞれ、1.5%、2.4%、1.2%減少すると推計しています。

高齢化率について、富田地区以外は2025年（平成37年）時点において、現在（2010年（平成22年））と比較して上昇していますが、市平均を下回ると推計しています。2025年（平成37年）時点の海蔵地区の高齢化率は市内で最も低くなると推計しています。一方、富田地区については、現在

(2010年(平成22年))から2015年(平成27年)まで上昇を続け、市平均を上回ると推計していますが、2015年以降は、減少傾向に転じ、市平均を下回ると推計しています。

年少人口については、海蔵地区、日永地区については一貫して上昇し、2025年(平成37年)時点の実数でも現在(2010年(平成22年))より、それぞれ約300人、400人増加すると推計しています。日永地区については、市内で最も高い年少人口比率を維持して推移します。富田地区、大矢知地区は、2020年(平成32年)まで上昇を続けますが、以降は減少傾向に転じるとしており、2025年(平成37年)時点では現在(2010年(平成22年))の実数を上回ると推計しています。

一方、川島地区、常磐地区、内部地区については、2015年(平成27年)以降には減少傾向に入るか、微減ですが、すでに減少傾向に入っており、2025年(平成37年)時点の実数は現在(2010年(平成22年))の実数を下回ると推計しています。

総人口が増加する多くの地区では「年少人口は減少」、「生産年齢人口・高齢者人口は増加」という傾向にありますが、海蔵地区や日永地区のように、2025年(平成37年)まで年少人口・生産年齢人口ともに増加する地区もあります。一方、保々地区では年少人口・生産年齢人口がともに減少しますが、その減少数を上回り高齢者人口が増加するため、総人口は増加します。

#### ■人口減少地区

2010年(平成22年)から10年後(2020年(平成32年))をみると、総人口は減少幅の大きい順に、橋北地区が13.1%、塩浜地区が11%、小山田地区が10.4%、県地区が6.3%減少すると推計しています。2010年(平成22年)から15年後(2025年(平成37年))までをみると、橋北地区が19%、塩浜地区が17.6%、小山田地区が15.7%、県地区が10.7%減少すると推計しています。いずれの地区についても、10年後(2020年)までの減少率よりも大きくなっており、人口減少は、今後15年間、いずれの地区においても共通の傾向として推移します。

高齢者人口をみると、多くの地区において、2025年(平成37年)にかけて実数、比率ともに上昇すると推計しています。小山田地区の高齢化率は2025年(平成37年)時点において市内の最高水準になると推計しています。一方で、橋北地区、塩浜地区では2020年(平成32年)以降、減少傾向に転じ、2025年(平成37年)時点において現在(2010年(平成22年))の実数を下回ると推計しています。

年少人口は、2025年(平成37年)にかけて、すべての地区において実数、比率ともに減少すると推計しています。特に、塩浜地区、橋北地区などは、40%に迫る減少率を示しています。塩浜地区の年少人口比率は2010年(平成22年)時点から2025年(平成37年)まで市内の最低水準が続くと推計しています。

総人口が減少する多くの地区では、「年少人口・生産年齢人口ともに減少」、「高齢者人口は増加」という傾向にありますが、河原田地区、楠地区、四郷地区のように、2020年(平成32年)までは年少人口と生産年齢人口の減少数の合計を高齢者人口の増加数が上回るため、総人口が増加する地区もあります。しかし、それらの地区も2020年(平成32年)以降は減少傾向に転じます。

総人口の将来推計

区分	地区	2010年	将来の増減 (2010年～2015年)		将来の増減 (2010年～2020年)		将来の増減 (2010年～2025年)	
		現在 実数	増減数	増減率	増減数	増減率	増減数	増減率
人口増加地区	海蔵	13,495	773	5.7%	1,268	9.4%	1,731	12.8%
	内部	18,248	1,052	5.8%	1,526	8.4%	1,903	10.4%
	川島	12,407	776	6.3%	1,063	8.6%	1,240	10.0%
	大矢知	18,982	880	4.6%	1,392	7.3%	1,800	9.5%
	日永	18,137	798	4.4%	1,144	6.3%	1,437	7.9%
	常磐	27,289	708	2.6%	1,300	4.8%	1,755	6.4%
	富田	11,954	128	1.1%	233	1.9%	297	2.5%
	保々	7,496	99	1.3%	144	1.9%	157	2.1%
10年後以降人口減少が始まり、2025年時点では現在の人口を下回る地区	楠	11,362	181	1.6%	59	0.5%	-132	-1.2%
	河原田	4,643	63	1.4%	7	0.2%	-70	-1.5%
	四郷	24,496	759	3.1%	180	0.7%	-586	-2.4%
すでに人口減少が始まっているか、ほぼ横ばいであり、10年後には人口減少が始まり、2025年時点では現在の人口を下回る地区	三重	22,867	271	1.2%	-17	-0.1%	-525	-2.3%
	八郷	13,079	75	0.6%	-152	-1.2%	-480	-3.7%
	羽津	16,615	-708	-4.3%	-660	-4.0%	-747	-4.5%
	下野	8,373	-39	-0.5%	-235	-2.8%	-494	-5.9%
	中部	24,250	-911	-3.8%	-1,458	-6.0%	-2,126	-8.8%
	水沢	3,435	-32	-0.9%	-136	-4.0%	-253	-7.4%
	桜	16,150	-237	-1.5%	-696	-4.3%	-1,262	-7.8%
	富洲原	9,328	-233	-2.5%	-567	-6.1%	-946	-10.1%
	神前	7,120	-155	-2.2%	-413	-5.8%	-722	-10.1%
	県	7,089	-193	-2.7%	-449	-6.3%	-763	-10.7%
	小山田	4,947	-249	-5.0%	-515	-10.4%	-776	-15.7%
	塩浜	6,680	-330	-4.9%	-736	-11.0%	-1,175	-17.6%
橋北	5,951	-436	-7.3%	-777	-13.1%	-1,133	-19.0%	
市全体	314,393	3,040	0.97%	1,505	0.48%	-1,870	-0.59%	

高齢者人口の将来推計

地区	2010年	将来の増減 (2010年～2015年)		将来の増減 (2010年～2020年)		将来の増減 (2010年～2025年)	
	現在 実数	増減数	増減率	増減数	増減率	増減数	増減率
川島	2,213	641	29.0%	1,027	46.4%	1,261	57.0%
内部	2,902	751	25.9%	1,210	41.7%	1,559	53.7%
保々	1,332	225	16.9%	350	26.3%	466	35.0%
常磐	4,670	777	16.6%	1,249	26.7%	1,569	33.6%
大矢知	3,381	735	21.7%	1,022	30.2%	1,135	33.6%
日永	3,358	597	17.8%	765	22.8%	835	24.9%
海蔵	2,679	286	10.7%	391	14.6%	484	18.1%
富田	2,881	174	6.0%	142	4.9%	35	1.2%
四郷	5,718	1,057	18.5%	1,258	22.0%	1,270	22.2%
河原田	982	65	6.6%	127	12.9%	154	15.7%
楠	2,560	347	13.6%	407	15.9%	396	15.5%
県	1,473	450	30.5%	728	49.4%	786	53.4%
桜	3,256	908	27.9%	1,454	44.7%	1,732	53.2%
八郷	2,750	566	20.6%	842	30.6%	1,010	36.7%
羽津	2,948	578	19.6%	778	26.4%	852	28.9%
三重	5,185	1,229	23.7%	1,541	29.7%	1,385	26.7%
下野	2,068	276	13.3%	367	17.7%	331	16.0%
神前	1,824	247	13.5%	340	18.6%	287	15.7%
中部	5,665	425	7.5%	566	10.0%	680	12.0%
富洲原	2,368	184	7.8%	222	9.4%	178	7.5%
水沢	956	119	12.4%	111	11.6%	68	7.1%
小山田	1,429	69	4.8%	101	7.1%	83	5.8%
塩浜	1,979	132	6.7%	82	4.1%	-70	-3.5%
橋北	1,770	112	6.3%	29	1.6%	-105	-5.9%
市全体	66,347	10,950	16.5%	15,109	22.8%	16,381	24.7%

高齢化率

地区	2010年	2015年	2020年	2025年
川島	17.8%	21.6%	24.1%	25.5%
内部	15.9%	18.9%	20.8%	22.1%
保々	17.8%	20.5%	22.0%	23.5%
常磐	17.1%	19.5%	20.7%	21.5%
大矢知	17.8%	20.7%	21.6%	21.7%
日永	18.5%	20.9%	21.4%	21.4%
海蔵	19.9%	20.8%	20.8%	20.8%
富田	24.1%	25.3%	24.8%	23.8%
四郷	23.3%	26.8%	28.3%	29.2%
河原田	21.2%	22.2%	23.8%	24.8%
楠	22.5%	25.2%	26.0%	26.3%
県	20.8%	27.9%	33.2%	35.7%
桜	20.2%	26.2%	30.5%	33.5%
八郷	21.0%	25.2%	27.8%	29.8%
羽津	17.7%	22.2%	23.4%	23.9%
三重	22.7%	27.7%	29.4%	29.4%
下野	24.7%	28.1%	29.9%	30.4%
神前	25.6%	29.7%	32.3%	33.0%
中部	23.4%	26.1%	27.3%	28.7%
富洲原	25.4%	28.1%	29.6%	30.4%
水沢	27.8%	31.6%	32.3%	32.2%
小山田	28.9%	31.9%	34.5%	36.3%
塩浜	29.6%	33.2%	34.7%	34.7%
橋北	29.7%	34.1%	34.8%	34.6%
市平均	21.1%	24.4%	25.8%	26.5%

※2010年は10月1日現在

# 1章 四日市市の概要

## 年少人口の将来推計

## 年少人口比率

地区	2010年 現在	将来の増減 (2010年～2015年)		将来の増減 (2010年～2020年)		将来の増減 (2010年～2025年)	
	実数	増減数	増減率	増減数	増減率	増減数	増減率
海蔵	2,165	146	6.7%	115	5.3%	69	3.2%
日永	2,999	246	8.2%	146	4.9%	7	0.2%
富田	1,634	103	6.3%	52	3.2%	-12	-0.7%
大矢知	3,032	101	3.3%	16	0.5%	-113	-3.7%
常磐	4,348	-20	-0.5%	-81	-1.9%	-333	-7.7%
川島	2,065	63	3.1%	-119	-5.8%	-213	-10.3%
内部	3,019	-20	-0.7%	-154	-5.1%	-323	-10.7%
保々	1,230	-5	-0.4%	-74	-6.0%	-150	-12.2%
楠	1,653	14	0.8%	-119	-7.2%	-235	-14.2%
河原田	653	-24	-3.7%	-72	-11.0%	-115	-17.6%
四郷	3,353	-10	-0.3%	-318	-9.5%	-615	-18.3%
三重	3,452	-106	-3.1%	-343	-9.9%	-607	-17.6%
水沢	482	-21	-4.4%	-65	-13.5%	-96	-19.9%
羽津	2,555	-333	-13.0%	-476	-18.6%	-657	-25.7%
富洲原	1,193	-116	-9.7%	-260	-21.8%	-357	-29.9%
下野	1,127	-142	-12.6%	-248	-22.0%	-338	-30.0%
中部	2,651	-412	-15.5%	-609	-23.0%	-818	-30.9%
神前	901	-111	-12.3%	-211	-23.4%	-282	-31.3%
八郷	1,776	-199	-11.2%	-424	-23.9%	-564	-31.8%
桜	1,991	-274	-13.8%	-522	-26.2%	-693	-34.8%
小山田	543	-70	-12.9%	-149	-27.4%	-195	-35.9%
県	1,003	-168	-16.7%	-284	-28.3%	-362	-36.1%
橋北	642	-106	-16.5%	-176	-27.4%	-237	-36.9%
塩浜	636	-96	-15.1%	-184	-28.9%	-242	-38.1%
市全体	45,103	-1,560	-3.5%	-4,559	-10.1%	-7,481	-16.6%

地区	2010年	2015年	2020年	2025年
海蔵	16.0%	16.2%	15.4%	14.7%
日永	16.5%	17.1%	16.3%	15.4%
富田	13.7%	14.4%	13.8%	13.2%
大矢知	16.0%	15.8%	15.0%	14.0%
常磐	15.9%	15.5%	14.9%	13.8%
川島	16.6%	16.1%	14.4%	13.6%
内部	16.5%	15.5%	14.5%	13.4%
保々	16.4%	16.1%	15.1%	14.1%
楠	14.5%	14.4%	13.4%	12.6%
河原田	14.1%	13.4%	12.5%	11.8%
四郷	13.7%	13.2%	12.3%	11.5%
三重	15.1%	14.5%	13.6%	12.7%
水沢	14.0%	13.5%	12.6%	12.1%
羽津	15.4%	14.0%	13.0%	12.0%
富洲原	12.8%	11.8%	10.6%	10.0%
下野	13.5%	11.8%	10.8%	10.0%
中部	10.9%	9.6%	9.0%	8.3%
神前	12.7%	11.3%	10.3%	9.7%
八郷	13.6%	12.0%	10.5%	9.6%
桜	12.3%	10.8%	9.5%	8.7%
小山田	11.0%	10.1%	8.9%	8.3%
県	14.1%	12.1%	10.8%	10.1%
橋北	10.8%	9.7%	9.0%	8.4%
塩浜	9.5%	8.5%	7.6%	7.2%
市平均	14.3%	13.7%	12.8%	12.0%

## 生産年齢人口の将来推計

## 生産年齢人口比率

地区	2010年 現在	将来の増減 (2010年～2015年)		将来の増減 (2010年～2020年)		将来の増減 (2010年～2025年)	
	実数	増減数	増減率	増減数	増減率	増減数	増減率
海蔵	8,651	341	3.9%	762	8.8%	1,178	13.6%
大矢知	12,569	44	0.4%	354	2.8%	778	6.2%
内部	12,327	321	2.6%	470	3.8%	667	5.4%
日永	11,780	-45	-0.4%	233	2.0%	595	5.1%
富田	7,439	-149	-2.0%	39	0.5%	274	3.7%
常磐	18,271	-49	-0.3%	132	0.7%	519	2.8%
川島	8,129	72	0.9%	155	1.9%	192	2.4%
保々	4,934	-121	-2.5%	-132	-2.7%	-159	-3.2%
河原田	3,008	22	0.7%	-48	-1.6%	-109	-3.6%
楠	7,149	-180	-2.5%	-229	-3.2%	-293	-4.1%
四郷	15,425	-288	-1.9%	-760	-4.9%	-1,241	-8.0%
羽津	11,112	-953	-8.6%	-962	-8.7%	-942	-8.5%
三重	14,230	-852	-6.0%	-1,215	-8.5%	-1,303	-9.2%
下野	5,178	-173	-3.3%	-354	-6.8%	-487	-9.4%
八郷	8,553	-292	-3.4%	-570	-6.7%	-926	-10.8%
水沢	1,997	-130	-6.5%	-182	-9.1%	-225	-11.3%
中部	15,934	-924	-5.8%	-1,415	-8.9%	-1,988	-12.5%
富洲原	5,767	-301	-5.2%	-529	-9.2%	-767	-13.3%
神前	4,395	-291	-6.6%	-542	-12.3%	-727	-16.5%
桜	10,903	-871	-8.0%	-1,628	-14.9%	-2,301	-21.1%
塩浜	4,065	-366	-9.0%	-634	-15.6%	-863	-21.2%
小山田	2,975	-248	-8.3%	-467	-15.7%	-664	-22.3%
橋北	3,539	-442	-12.5%	-630	-17.8%	-791	-22.4%
県	4,613	-475	-10.3%	-893	-19.4%	-1,187	-25.7%
市全体	202,943	-6,350	-3.1%	-9,045	-4.5%	-10,770	-5.3%

地区	2010年	2015年	2020年	2025年
海蔵	64.1%	63.0%	63.8%	64.5%
大矢知	66.2%	63.5%	63.4%	64.2%
内部	67.6%	65.5%	64.7%	64.5%
日永	65.0%	62.0%	62.3%	63.2%
富田	62.2%	60.3%	61.4%	63.0%
常磐	67.0%	65.1%	64.4%	64.7%
川島	65.5%	62.2%	61.5%	61.0%
保々	65.8%	63.4%	62.9%	62.4%
河原田	64.8%	64.4%	63.7%	63.4%
楠	62.9%	60.4%	60.6%	61.1%
四郷	66.9%	63.9%	63.6%	64.1%
羽津	63.0%	59.9%	59.4%	59.3%
三重	65.4%	62.8%	61.8%	60.5%
下野	61.8%	60.1%	59.3%	59.5%
八郷	62.2%	57.8%	57.0%	57.9%
水沢	58.1%	54.9%	55.0%	55.7%
中部	65.7%	64.3%	63.7%	63.0%
富洲原	61.8%	60.1%	59.8%	59.7%
神前	61.7%	58.9%	57.4%	57.3%
桜	67.5%	63.0%	60.0%	57.8%
塩浜	60.9%	58.3%	57.7%	58.2%
小山田	60.1%	58.0%	56.6%	55.4%
橋北	59.5%	56.2%	56.2%	57.0%
県	65.1%	60.0%	56.0%	54.1%
市平均	64.6%	61.9%	61.4%	61.5%

※2010年は10月1日現在